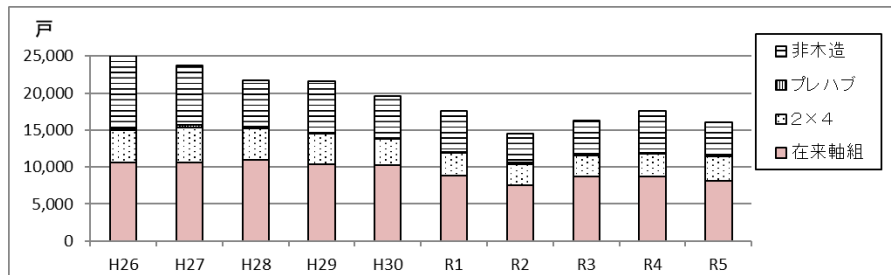


木材需要の動向と県の木材需要拡大策について

林業振興課

1 木材需要の動向

○ 宮城県内の新設住宅着工戸数の推移

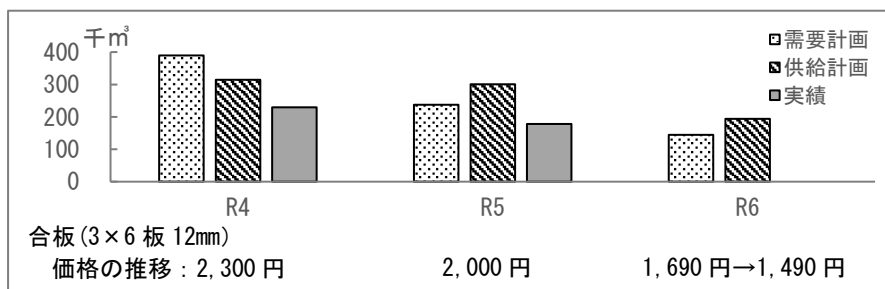
H26 年をピークに
年々減少傾向

○ 県内丸太需要量の内訳 (R4)

1,405 千 m ³		
製材用 200千m ³ (14%)	合板用 1,048千m ³ (75%)	チップ用 157千m ³ (11%)

当県の丸太の主な
需要先は合板用

○ 合板工場における合板用県産材の需給状況の推移 (森林組合・整備協等県内関係事業体)

合板工場による丸太の
受入制限が続いている

2 県の主な木材需要拡大策

(1) 県産材利用サステナブル住宅普及促進事業 (県単補助 : みやぎ環境税)

イ 新築住宅支援【補助】

- ・ 内 容 : ①主要構造部に県産材を 60%以上、かつ県産 J A S 製品又は優良みやぎ材を 40%以上使用する新築住宅への支援。②新築住宅に、県産材を 50%以上使用する内装木質化や木製品導入への支援。
- ・ 事業量 : ① 400 件程度 ② 60 件程度
- ・ 補助額 : ① 上限 50 万円 (子育て世帯又は移住世帯は上限 75 万円)
 ② 上限 30 万円 (子育て世帯又は移住世帯は上限 45 万円)



ロ 住宅リフォーム支援【補助】

- ・ 内 容 : 県産材を 3 m³以上又は 60 m²以上使用する住宅等の増改築への支援
- ・ 事業量 : 8 件程度
- ・ 補助額 : 上限 20 万円



ハ 新築住宅支援（マンション）【補助】

- ・内 容：県産材を使用（下地材を想定）する新築マンションへの支援
- ・事業量：1 件
- ・補助額：上限250万円



(2) CLT普及促進事業（県単補助：みやぎ環境税）

イ CLT等建築支援【補助】

- ・内 容：県産CLTを構造部等に使用し、かつ全木材使用量のうち2分の1以上に県産CLT等を使用したオフィスビルなどへの支援
- ・事業量：2 件程度
- ・補助額：県産CLT等の購入に係る経費及び木工事費の2分の1以内（上限2,000万円）



ロ CLT活用技術開発支援【補助】

- ・内 容：県産CLTの規格化に向けた主要部材等のユニット化・技術開発等への支援
- ・事業量：1 件程度
- ・補助額：開発に係る経費・材料購入費（上限1,500万円）



(3) 広葉樹流通システム事業（国庫補助：デジタル田園都市国家構想交付金事業）

イ 広葉樹林評価ビジネスの創出事業【委託】

- ・内 容：県内の林業事業者を対象に、有用広葉樹の資源評価に向けた研修会（樹種判別等検討会、採材方法検討会）の開催



ロ 県産広葉樹商品化スタートアップ事業【補助】

- ・内 容：新たな広葉樹製品の開発や製造、製作した製品の普及PR活動など県産広葉樹資源の利用推進に向けた取組に対する支援
- ・事業量：2 件程度
- ・補助額：2分の1以内で上限75万円



ハ 県産広葉樹プロモーション事業【委託・プロポーザル】

- ・内 容：これまで利用が低位であった県産広葉樹の利用拡大を推進するため認知度向上や消費拡大に向けたWEBメディアやデジタルパンフレット等による広報活動の実施



(4) 施設整備支援（国庫補助：国内森林資源活用・木材産業国際競争力強化対策事業）

- ・内 容：木材産業の競争力強化に向けた木材加工流通施設等への支援
- ・R5実績：県産2×4部材生産工場への支援（補助率2分の1）
 - 事業主体：(株) ヤマコ佐藤（登米市）
 - 原木消費目標（R8）：32,000 m³/年（R3実績：19,355 m³/年）

